

北西太平洋サンマ中短期漁況予報

-分布回遊状況解析調査に基づく実用化試験-

1. 今後の見通し

予測期間:2003年10月上旬から11月中旬までの旬別
 対象海域:道東海域、三陸海域、常磐海域
 対象漁業:さんま棒受網漁業
 対象魚群:南下回遊群

1) 道東海域

- (1) 来遊量: 10月上旬に高水準から減少傾向となり、10月中旬にはさらに低下傾向が続き、10月下旬には低位水準となる。11月上旬は低位水準で推移し、11月中旬には断続的となる。
- (2) 漁場: 10月上旬には釧路～襟裳岬周辺・沖合が主漁場となり、10月中旬以降は襟裳岬南沖が主漁場となる。

2) 三陸海域

- (1) 来遊量: 10月上旬に高位でピークに達する。10月中旬には減少傾向となり、10月下旬～11月上旬は中位水準となる。11月中旬には低下する。
- (2) 漁場: 10月上旬は北部から南部にかけて広範囲に形成され、10月中旬以降は南偏傾向となり、11月下旬には南部主体となる。

3) 常磐海域

- (1) 来遊量: 10月上旬は低水準であるが、10月中旬には増加傾向となりピークに達する。10月下旬には低下傾向となり、11月上旬以降平年並みの水準で推移する。
- (2) 漁場: 10月上旬には常磐南部において形成される。10月中旬には、犬吠周辺にも形成される。10月下旬～11月中旬は鹿島灘・犬吠周辺が主漁場となる。

2. 予測の概要

海 域		10月上旬	10月中旬	10月下旬	11月上旬	11月中旬
道東海域	来遊量					
	動向	高位低下	低下	中位低下	低位水準	断続的
	漁場	釧路～襟裳岬 周辺・沖合	襟裳岬南沖	襟裳岬南沖	襟裳岬南沖	襟裳岬南沖
三陸海域	来遊量					
	動向	高位水準	高位低下	中位横這	中位横這	中位低下
	漁場	北部～南部	南偏傾向	南偏傾向	南偏傾向	南部
常磐海域	来遊量					
	動向	低位水準	増加傾向	中位減少	低位横這	低位横這
	漁場	常磐南部	常磐南部～犬 吠周辺	鹿島灘・犬吠周 辺	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周 辺

3. 漁況の経過概要

(9月中旬)

1) 道東海域

- (1) 来遊量: 資源量指数から判断した来遊量の水準は、前期より若干増加し、前年を大きく上回った。1989年以降過去14年間のものと比較すると高位水準年に区分された。また日別CPUEの推移から判断して、期後半に来遊量が多くなった模様。
- (2) 漁場: 漁場は、落石南沖～厚岸南沖と、釧路南沖～襟裳岬南東沖に分かれた。落石南20海里～厚岸大黒島南60海里付近では、小型船・大型船ともに期間中ほぼ連続して漁場となった。漁場水温は12～15℃が主体。期前半は薄い群れが多く、灯付きはやや不良であったが、期後半では濃い群れが多くなり、灯付きはやや良好となった。釧路南30海里～襟裳岬南東50海里では、大型船主体の漁場となった。漁獲水温は15～17℃と落石沖の漁場よりも高い。
- (3) 魚体: 魚体は大4 - 中4 - 小2～3 - 5 - 2が主体。体長30～31cm主体、体重160g台主体。期後半に新たな群れが加入した模様で、体重160g台の割合が増えた。